

令和8年度 9月号



精華中だより

京都府精華町立精華中学校

TEL 0774-94-2013

FAX 0774-94-2054

ホームページ <http://www.kyoto-be.ne.jp/seika-jhs/>

□めざす生徒像

- ・ 清く明るく素直な心を持つ生徒
- ・ 健康でたくましい実行力を持つ生徒
- ・ 互いの人格を尊重し厚い友情を持つ生徒

□今年度の重点

- ・ 「地域に開かれ、愛され、貢献できる学校」
- ・ 「学力充実に向けた取り組み」

9月14日（月）再発行

「和を以て貴しとなす（わをもってとうとしとなす）」

校長 有城 義浩

はじめに、「令和8年熊本地震」、そして「令和8年8月千葉豪雨」によって、大きな被害を受けられた皆さんに、心よりお見舞い申し上げます。被災された方々が、一日も早く安心した生活を取り戻されること、そして被災地の一日も早い復旧・復興を心から願っています。

こうした災害について考えるとき、皆さんに覚えておいてほしいことがあります。それは、「災害は、いつ、どこで起こるか分からない」ということです。

私たちが暮らす京都府でも、南海トラフ地震や活断層による大きな地震が起こる可能性があります。だからこそ災害が起きてから考えるのではなく、「もし今、大きな地震が起きたら自分はどうするか」を普段から考えておくことが大切です。例えば、地震が起きたら、まず落下物や家具などから身を守り自分の命を守る。揺れがおさまったら周囲の状況を確認し、先生や家族、地域の方の指示に従って行動する。

こうした一つ一つの行動が、自分の命を守ることに繋がります。そしてもう一つ大切なのは、自分だけでなく、周りの人のことを考えることです。中学生の皆さんは、災害のときに助けてもらうだけの存在ではありません。自分の安全を確かめながら、家族や地域の方に声をかけたり、避難所でできることを手伝ったりするなど、皆さんにもできることがあります。

災害への備えとは、災害を怖がることではありません。「もし起こったら、どうするか」を考え、準備しておくことです。本校では、2年生で防災学習に取り組んでいます。今年の2月には、生徒会が主体となって、地域の方と合同で避難所体験を行いました。また、11月には、今年度2回目の避難訓練があります。その一つ一つを、単に「体験だから、訓練だから」と考えるのではなく、自分や大切な人の命を守るための学びとして、大切にしてください。

次に、今年は戦後81年になります。夏休み中も、テレビや新聞、インターネットなど、さまざまなメディアを通して戦争と平和について考える機会があったのではないのでしょうか。

現在も、残念ながら世界では戦争が行われています。日本では、二度と戦争を繰り返さない、平和な世の中をつくっていかうとする活動がさまざまな場所で行われています。一方で、戦争を実際に経験した方が年々少なくなり、戦争や戦禍の記憶を次の世代へ継承していくことが、ますます大切になっています。

その中で、中学生や高校生など若い世代が主体となって、平和について考えさまざまな活動をしている姿も見られます。本校では、「平和」について深く学ぶ機会として、修学旅行で沖縄を訪れています。沖縄では、今から80年以上前の沖縄戦で、多くの尊い命が失われました。子どもたちを含め、多くの人々が大切な家族や友人を失い、その記憶は今も受け継がれています。戦争は、決して遠い昔の出来事ではありません。平和な毎日が当たり前ではないこと。そして、命がかけがえのないものであること。私たちは、そのことを忘れてはいけません。

平和な世の中を守っていくために、自分たちにできることは何か。私は、「いじめ」や「嫌がらせ」など、力によって相手を傷つけたり、支配したりしようとする行為と戦争には、通じるものがあると考えています。だからこそ皆さんには、日々の学校生活の中で考えてほしいことがあります。「人を傷つけない。人の嫌がることは絶対にしない。」そして、「自分も傷つかない。」このことが、とても大切です。一人一人が相手の立場に立って考え、人の痛みを分かり感じること。そして、互いの違いを認め尊重すること。そんな身近な行動の積み重ねが、争いや戦争のない平和な世の中へとつながっていくのです。

さて、2学期には「合唱コンクール」と「体育大会」という大きな学校行事があります。学校行事は、勝敗を争うことだけが目的ではありません。行事への取組を通して、皆さん一人一人が心を成長させることも、大きな目的の一つです。

最後までやり切ることで得られる「達成感」。学級やブロックの仲間と、ともに困難や課題を乗り越える中で、日に日に強くなっていく「連帯感」。そして、多くの人に支えられていることを実感することで生まれる「感謝」。もちろん、思うような結果が出なかったりすれば、悔しさもあるでしょう。しかし、それ以上に、一つのことに全力で取り組んできたからこそ味わえる充実感があります。そして最後には、涙が出るほどの「感動」を味わってほしいと思います。

聖徳太子の十七条憲法に由来する言葉に、「和を以て貴しとなす（わをもってとうとしとなす）」という言葉があります。これは、「異なる意見をしっかりと話し合い、互いを認め合い協力して調和を大切にすることが重要である」という意味です。

2学期の学校行事では、楽しいことばかりではなく、意見の違いや思うようにいかないこともあるでしょう。そんなときこそ、自分の考えだけを通そうとするのではなく、相手の意見にも耳を傾けてください。そして、みんなで話し合い力を合わせながら、よりよいものをつくってほしいと思います。相手を尊重し、互いに協力する。そんな2学期にしてほしいと思います。

まだまだ暑い日が続いています。十分な熱中症対策を講じ、健康に留意して元気に学校生活を送ってください。

令和8年度 10月行事予定表【改訂版】

日	曜日	給食	学 校 行 事
1	木	○	合唱練習 合唱コン前日準備 部活動休養日
2	金	×	合唱コンクール(午前中開催) 部活動休養日
3	土		相楽新人大会予備日
4	日		
5	月	○	補充学習 部活動休養日 生徒会選挙運動(～7日)
6	火	○	放)ブロック会議
7	水	○	後期教育実習終了 放)演説リハーサル
8	木	○	校内授業研(3年) 部活動休養日
9	金	○	生徒会役員選挙
10	土		山城駅伝大会
11	日		山城駅伝大会予備日
12	月		スポーツの日
13	火	○	放)選挙結果発表 ブロック練習①②(結団式) 放)ブロック会議
14	水	○	学年体育 補充学習 部活動休養日
15	木	○	ブロック練習③④ 放)稲刈りボランティア 放)ブロック会議
16	金	○	ブロック練習⑤⑥
17	土		町内小学校運動会
18	日		
19	月	○	
20	火	○	学年体育 部活動停止日 放)体育係会議 競技長会議 予行準備
21	水	○	体育大会予行 部活動停止日
22	木	○	体育大会準備 部活動停止日 ブロック練習⑦⑧
23	金	×	体育大会(午前中開催) 部活動停止日
24	土		
25	日		
26	月	○	部活動停止日
27	火	×	体育大会予備日① 体育大会開催時は部活動停止
28	水	○	補充学習 部活動休養日 オープンスクール⑤ 進路説明会
29	木	○	体育大会予備日② 前期一斉執行部会 午前中授業 部活動休養日
30	金	○	3年実力テスト 3年進路学習【体育館】
31	土		

伝達表彰(8月27日)

- 山城地方中学校体育大会
卓球の部男子
団 体【第3位】卓球部男子
新体操の部
総 合【第3位】
種目別ボール【第3位】
- 第78回京都府中学校総合体育大会
陸上競技の部
男子共通三段跳【優勝】
女子共通 100mH【第3位】
女子1年 100m【第5位】
男子共通砲丸投【第6位】
女子1年 800m【第7位】
男子共通 400m【第7位】
新体操女子個人の部
総 合【第12位】
水泳競技の部
男子 100m平泳ぎ【出場】
男子 200m平泳ぎ【出場】
- 京都府中学校四種競技大会
女子共通【第4位】
- 第75回近畿中学校総合体育大会
陸上競技の部
女子共通 100mH【第5位】
男子共通三段跳び【第12位】
- 第63回京都府吹奏楽コンクール
【銅賞】吹奏楽部
- 第1回ルーキーズマッチ
【優勝】女子バレーボール部
- 第53回全日本中学校陸上競技選手権大会
女子共通 100mH【出場】
- JOC ジュニアオリンピック第40回全国都道府県対抗
中学バレーボール大会京都府代表選手選出

予定は変更されることがあります。